

平成28年度当初予算編成の基本的な考え方

平成28年度当初予算については、「市民優先」を基本的な方針として、市政の円滑な運営を確保することを第一に通年予算を編成しました。

内容は、法令等に基づく義務的経費や施設の維持管理などの経常経費のほか、これまで進めてきた道路整備や各種施設整備に係る投資的経費、新たな政策的経費についても予算計上を行うなど、市民に最も近い基礎的自治体として推進すべき施策事業を盛り込むことで、11万7千人の市民が安心して生活できるまちづくりと、日常の暮らしをしっかりと支える予算としました。

これらを具体的に要約すると、次のとおりです。

- ・保健、医療、子育て、高齢者福祉などの社会保障関係経費については、年間所要見込み額を計上しました。
- ・公共施設等の維持管理経費やバス運行補助をはじめ、市民生活に密着した経常的経費については、年間所要見込み額を計上しました。
- ・国県補助を導入して行う道路整備事業や都市再生整備計画事業、子育て施設整備補助などの投資的経費については、各計画に基づき必要額を計上しました。
- ・高齢者外出支援タクシー券や子育て応援米支給をはじめとした公約事業や、新規施策等の政策的経費については、喫緊の課題への

対応に必要な額を計上しました。

- ・特別会計・水道事業会計については、年間所要見込み額を計上しました。

一方で、市長就任から間もない時間の制約がある中での予算編成であるため、調査・検討が必要となる一部の公約事業については、迅速に詳細調査や制度設計検討に取りかかり、準備が整い次第、今後の補正予算において予算の追加を行うこととします。

以上の基本的な考え方により編成しました平成28年度一般会計当初予算案の総額は472億6千万円です。